

# 1 水産総合研究所の沿革と組織

## (1) 位 置

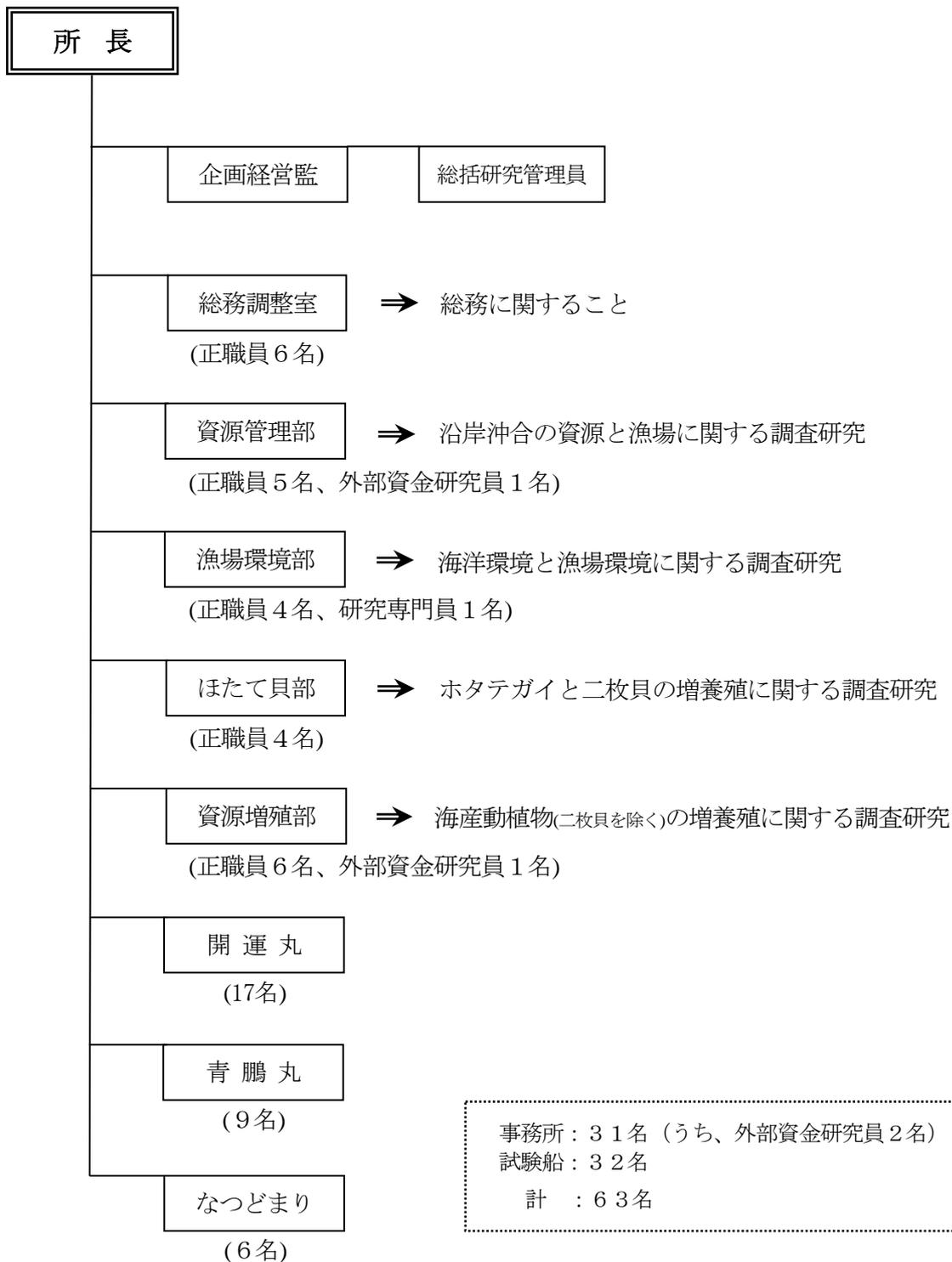
東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

(〒039-3381 TEL 017-755-2155 FAX 017-755-2156)

## (2) 沿 革

- |         |  |
|---------|--|
| 明治33年2月 | 青森県水産試験場設置認可（農商務大臣）  |
| 明治33年4月 | 青森市大字大野字長島青森県庁構内に設置し事務開始   |
| 明治34年   | 相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置  |
| 大正13年   | 本場を八戸市湊町に移転  |
| 昭和23年   | 黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置   |
| 昭和23年   | 本場を西津軽郡鱒ヶ沢町に移転、庁舎新築  |
| 昭和24年   | 陸奥湾分場をむつ市に設置   |
| 昭和25年   | 黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転  |
| 昭和27年   | 陸奥湾分場が陸奥湾水産増殖研究所と改称され独立機関となる                                     |
| 昭和43年   | 水産増殖研究所を平内町茂浦に移転し、水産増殖センターと改称する                                  |
| 昭和51年3月 | 鱒ヶ沢町大和田に水産試験場新庁舎を竣工  |
| 昭和56年4月 | 十和田市に青森県内水面水産試験場を設置する（相坂、黒石両養魚場及び内水面関係業務を移管）                     |
| 昭和58年2月 | 青森県水産試験場漁業研修センター竣工   |
| 平成5年    | 水産増殖センター新庁舎竣工  |
| 平成12年4月 | 水産試験場創立100年  |
| 平成13年3月 | 八戸市ポートアイランドに漁具倉庫新築   |
| 平成15年4月 | 試験研究機関の統合により青森県水産総合研究センターと改称され、下部機関として増養殖研究所、内水面研究所が配置となる        |
| 平成18年4月 | 水産総合研究センター庁舎を鱒ヶ沢町舞戸町に移転  |
| 平成21年4月 | 青森県水産総合研究センターと増養殖研究所を統合し、地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所となり、庁舎を平内町へ移転 |

(3) 機 構 (平成27年度)



## (4) 施 設

① 土 地	20,971.30m <sup>2</sup>		
② 建 物	5,461.74m <sup>2</sup>		
・管理研究棟	鉄筋コンクリート造	1部2階建	1,735m <sup>2</sup>
・実験機械棟	鉄骨造	平屋建	1,122m <sup>2</sup>
・飼育実験棟	〃	〃	1,563m <sup>2</sup>
・研修宿泊棟	木造	2階建	271m <sup>2</sup>
・作業棟	〃	平屋建	324m <sup>2</sup>
・取水ろ過棟	鉄筋コンクリート造		103m <sup>2</sup>
・倉庫棟	木造	平屋建	108m <sup>2</sup>
・発電機棟	鉄筋コンクリート造	〃	59m <sup>2</sup>
・車庫棟	鉄骨造	〃	74m <sup>2</sup>
・油庫棟	〃	〃	8m <sup>2</sup>
・その他			95m <sup>2</sup>
③ 主な施設			
・海水取水ポンプ	7.5KW	3台	
・逆洗ポンプ	18.5KW	1台	
・ろ過槽(重力式)	80トン/時	3基	
・ろ過貯水タンク	120トン	1基	
・屋外コンクリート水槽	12トン:6面、10トン:8面		
・親魚棟コンクリート水槽	30トン:1面、20トン:1面、10トン:4面		
・屋内FRP水槽	30トン:2面、10トン:2面、5トン:3面		
・ブローラー	3.7KW:2台、5.5KW:1台		
・発電機	500KVA	1台	
・海水温度制御装置(アクアトロン)	温海水 5系統 35トン/時 冷海水 4系統 6トン/時		
・海況自動観測装置(ブイロボット)	3基		
④ 試 験 船			
・開 運 丸	199トン	ディーゼル	1,600PS (鉄鋼船)
・青 鵬 丸	65トン	ディーゼル	1,000PS ( 〃 )
・なつどまり	24トン	ディーゼル	770PS (FRP船)
⑤ 実 習 船			
・み どり	4.2トン	ディーゼル	50PS (FRP船)
・二十一海洋	2.8トン	船外機(2サイクル)	110KW (FRP船)